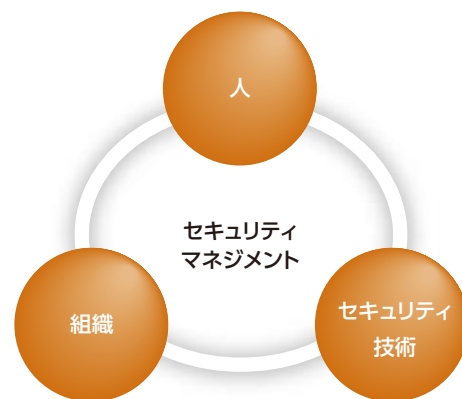


# ITセキュリティ マネジメント

セキュリティ対策は、技術的対策だけでなく、マネジメントの視点からの対策も必要です！  
「情報セキュリティ10大脅威」を見ても、マネジメント対策の必要性が分かります。

- 1位 標的型攻撃による機密情報の搾取
- 2位 内部不正による情報漏えい
- 3位 ビジネスメール詐欺による金銭被害
- 4位 サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
- 5位 ランサムウェアによる被害
- 6位 予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
- 7位 不注意による情報漏えい
- 8位 インターネット上のサービスからの個人情報の窃取
- 9位 IoT機器の不正利用
- 10位 サービス妨害攻撃によるサービスの停止

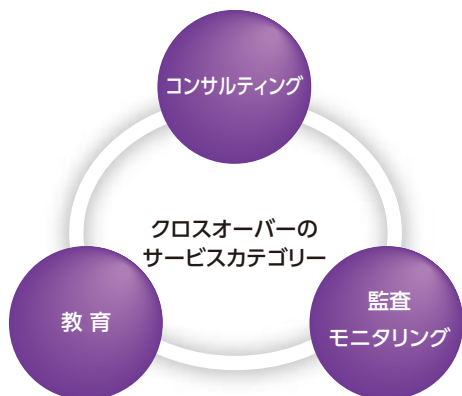
「情報セキュリティ10大脅威2020」IPAより



セキュリティマネジメント対策はクロスオーバーにお任せください!!

## クロスオーバーのサービスメニュー

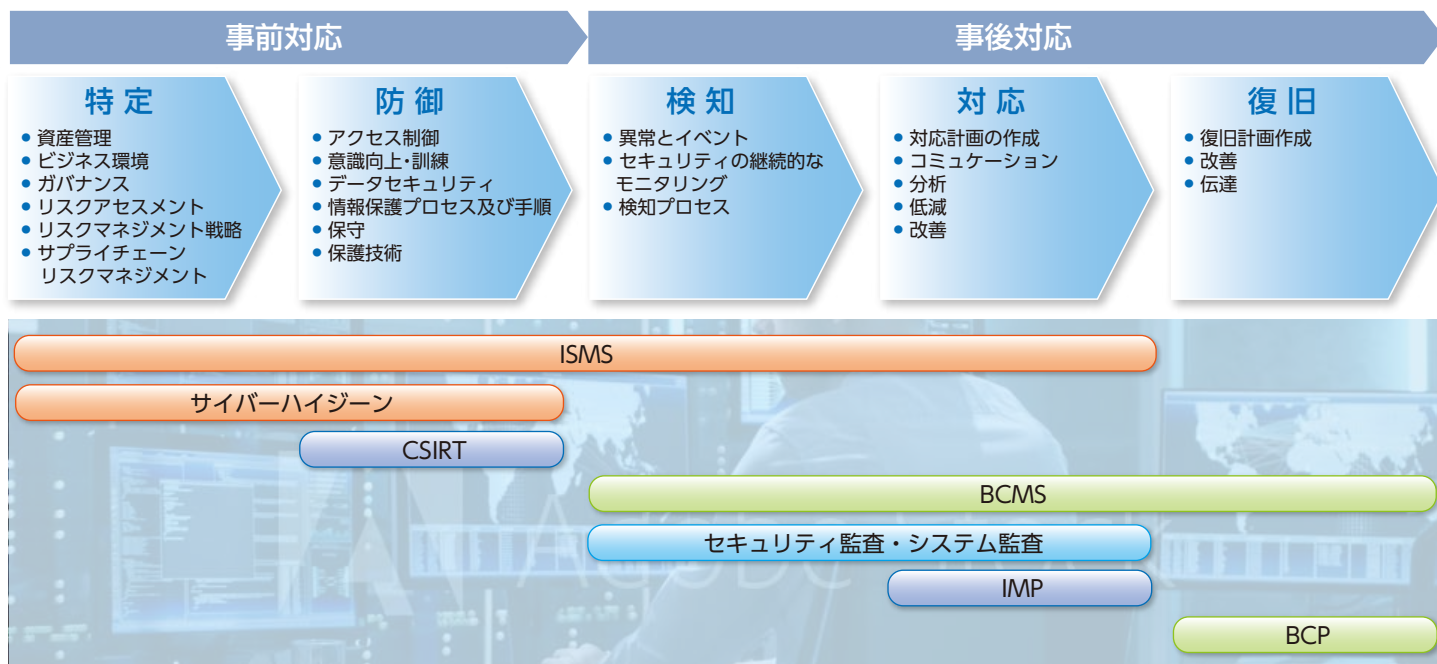
- 企業のセキュリティガイドラインの策定
- ITセキュリティに関わるマネジメントシステム(ISMS、BCMS、RMS等)の構築
- セキュリティ対応組織(SOC、CSIRT等)の構築
- サイバーハイジーン体制構築
- 事業継続マネジメント体制の構築・BCMS、BCP、IMP、CP等の構築、策定
- サイバーレジリエンス体制構築
- セキュリティ監査、システム監査基準の策定、体制構築、実施支援
- 経営層、社員へのセキュリティ教育
- ISMS、Pマーク認証取得支援



詳しくは裏面へ>>>

# クロスオーバーの基本的考え方と支援実績

セキュリティ対策は、戦略的、俯瞰的に進める必要性があります。米国 NIST のサイバーセキュリティフレームワーク (CSF) をベースに、企業規模、セキュリティ成熟度に応じた支援を行います。



## 事例：リスクの可視化からセキュリティマネジメント体制の構築

### プロジェクト概要

大手製造業の金融子会社において、既存のISMS体制との整合性をとりつつ、情報システムの事業継続マネジメントシステムの構築。

### 顧客情報

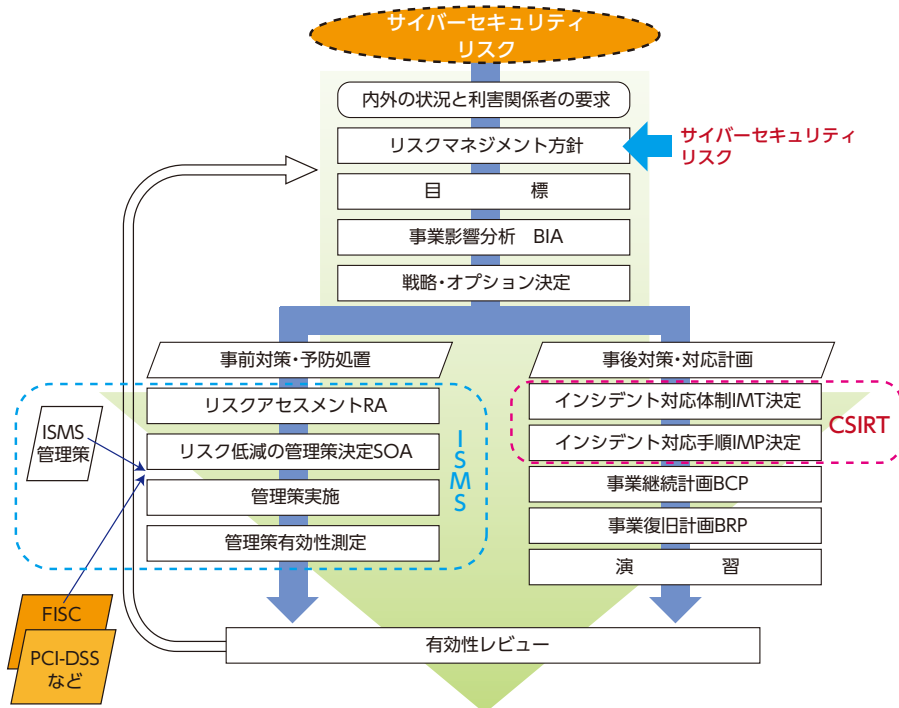
業種 金融業 取扱高 5,000億円 社員数 400名

### 背景

- 経営リスクの可視化、リスクマネジメント対応が急務であった。
- 各種ガイドラインが出される都度、対応してきたため、重複した文書もあり、重い仕組みになっていた。

### 支援内容

1. 整合性の取れた体制構築
2. リスクの可視化からリスク対応までの一連の計画・手順作成
3. 文書の軽減化



### クロスオーバーとは

クロスオーバーは、2003年1月、システム開発上流工程支援、ITコンサルティングを主に展開するため、日本能率協会コンサルティング(JMAC)が設立。JMACはじめ、日本能率協会グループの専門家の知見、ネットワークを駆使し、顧客に寄り添ったコンサルティングサービスを提供します。異なる価値をクロスオーバーさせ、新たな顧客価値創造をめざします。

